



国土地理院基盤地図情報(5mメッシュ標高)を活用した事例について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体: 水土里ネット新潟

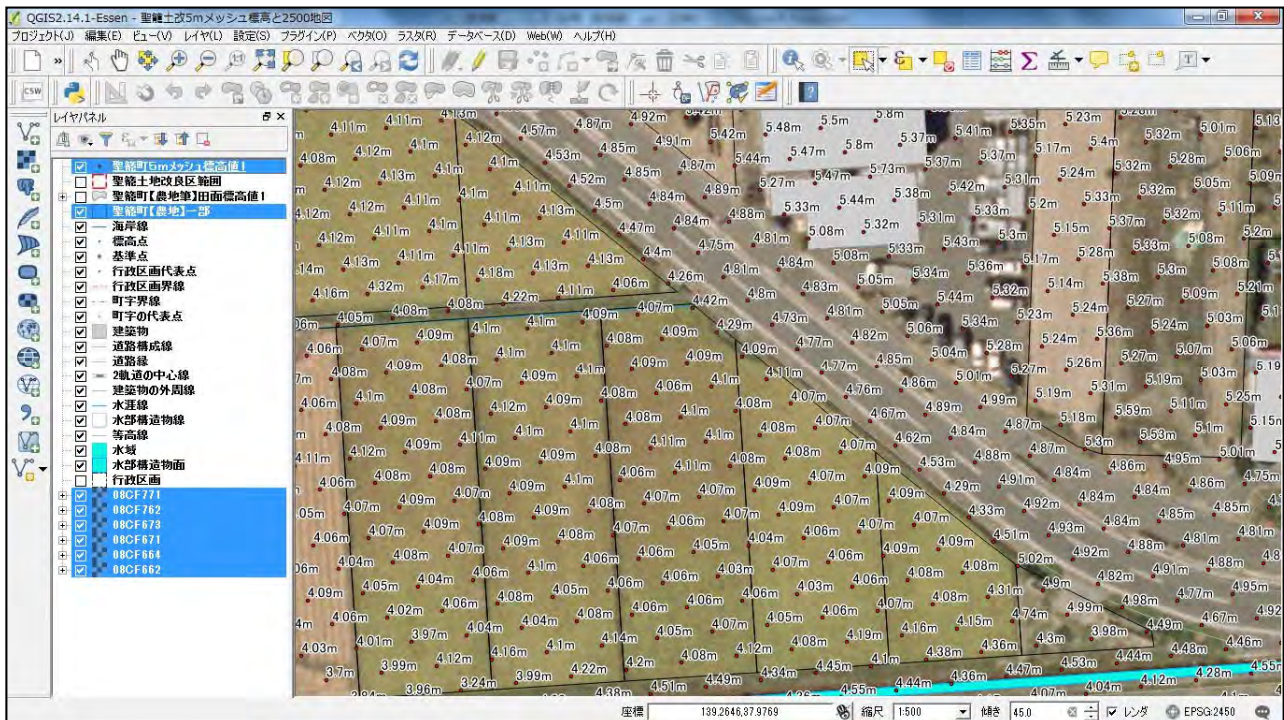
新潟県水土里情報利活用推進協議会

## 取組概要

内容: 平成24年度から土地改良事業調査計画において、現況田面標高図面作成の迅速化を図るため、国土地理院基盤地図情報ダウンロードサービスの数値標高モデル「5mメッシュ」データと水土里情報の農地筆および航空写真データを活用した。

経緯: ①平成20年度から国土地理院が基盤地図情報のダウンロードを開始し、データ仕様書、応用スキーマを公開した。また、ダウンロードデータ仕様がXML形式となり誰でも簡単に使えるようになった。

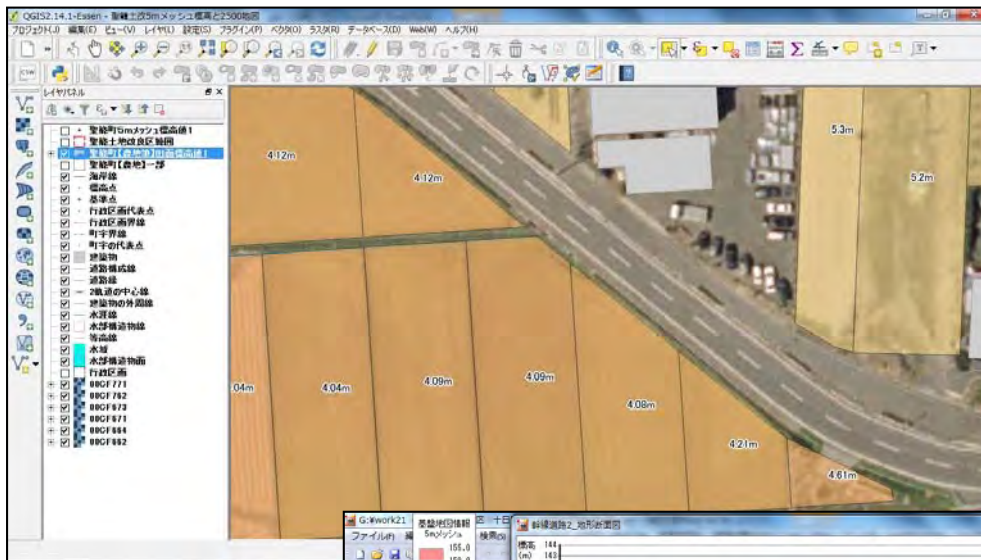
②平成24年3月28日付で、国土交通省は平成17~21年にかけて一級河川沿いを中心に実施した航空レーザ測量を基にした高精度な数値標高データ、134,000km<sup>2</sup>(国土の約35%)について、国土地理院Webサイトで、基盤地図情報(公共測量)として、提供を開始したことから利用できるデータが増えた。



GISソフト Q-GIS操作画面(5mメッシュ標高表示)

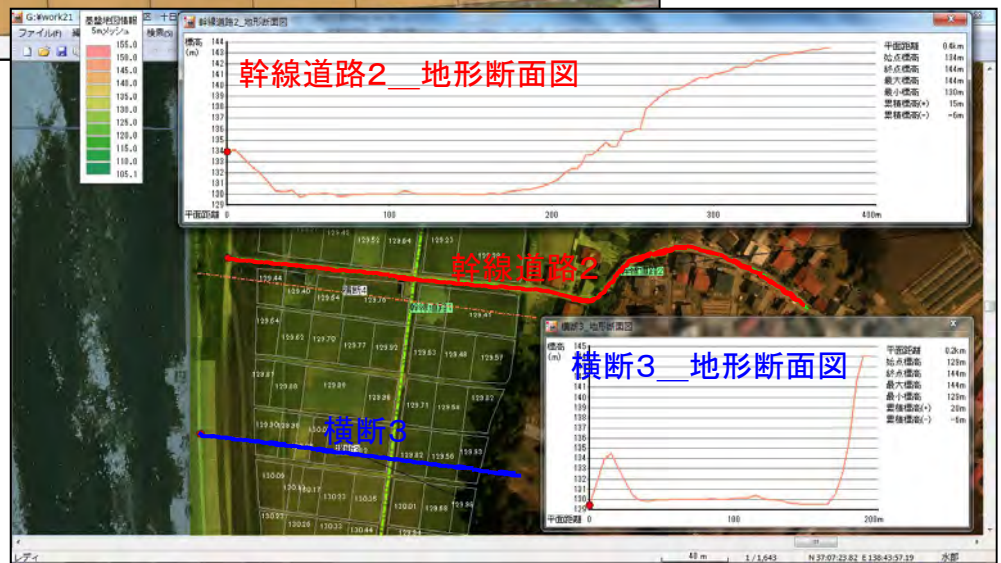
## 期待される効果

1. 「5mメッシュ」航空レーザ測量の基本測量および公共測量による標高値(標準偏差0.3m以内)と農地筆を利用して現況農地標高値算定作業の迅速化が図れる。
2. 同じく、「5mメッシュ」標高データを利用して、地形勾配算定や、現況道路縦断勾配等の算定作業の迅速化が図れる。



「5mメッシュ」標高値と農地筆を利用して現況農地標高値算定作業の迅速化が図れる。

「5mメッシュ」標高データを利用して、地形勾配算定や、現況道路縦断勾配等の算定作業の迅速化が図れる。



## 今後の活用予定

国土地理院の基盤地図情報は「5mメッシュ」標高データの他に「縮尺レベル2500」や「縮尺レベル25000」電子地図データ等が公開されている。新潟では見附市、新潟県農林水産部治山課、新潟大学等が低コスト・高精度で新しい基盤地図データとして活用している。今後も「水土里情報協議会員」へ利用の啓発・普及を図る予定である。

### ■お問い合わせ先

新潟県土地改良事業団体連合会(水土里情報センター) 025-286-1194(直通)  
 農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2212(直通)